



株式会社オプトラン  
**2018年12月期 第2四半期  
決算説明会資料**

2018年8月10日

**I. 2018年12月期 第2四半期 決算概要** **P 2**

---

**II. Appendix** **P11**

---

# I. 2018年12月期 第2四半期 決算の概要

- 決算ハイライト（連結）
- 受注高・受注残高
- 売上高
- 分野別売上構成
- 営業利益
- 研究開発費
- 財務の状況
- CFの状況

# 決算ハイライト（連結）



## 業績は大幅伸長

スマートフォンやLED装置は堅調、カメラレンズ（監視カメラ）やIoT（生体認証・車載等）向け成膜装置が成長分野。

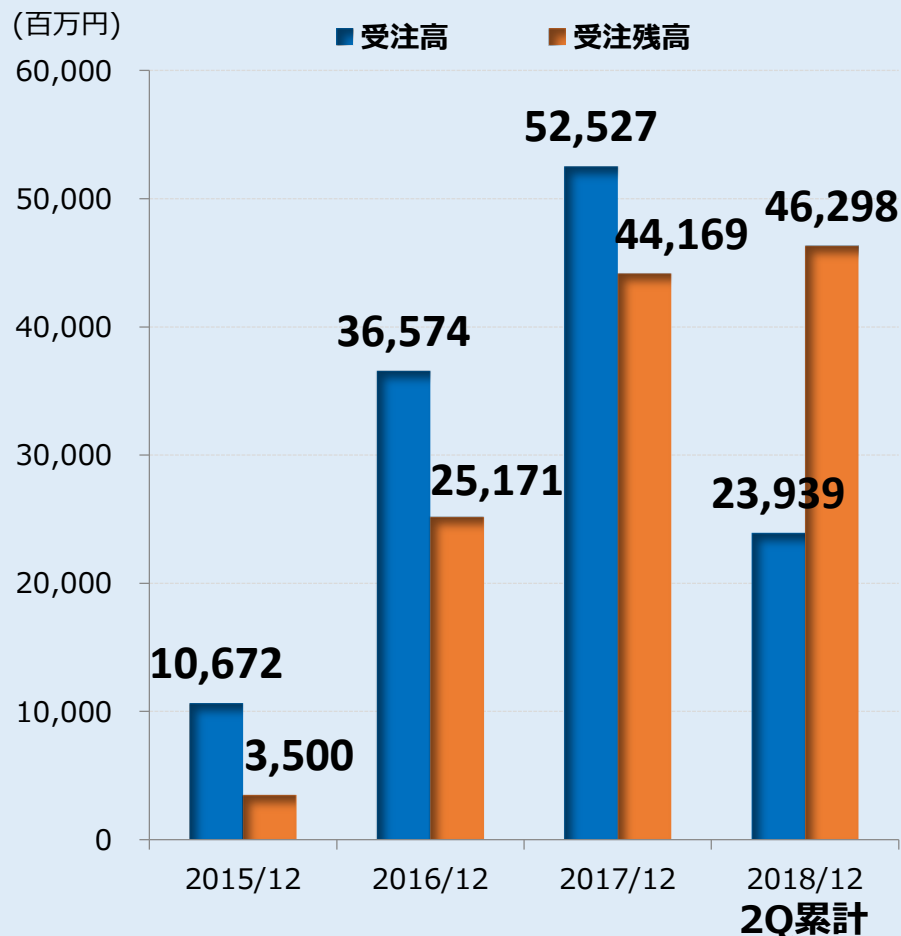
米中貿易摩擦や中国株式市場の低迷による影響は限定的。成膜技術レベル高度化、短納期を求める顧客が増加し、きめ細かなコンタクトが必要となっている。

（百万円）

|                     | 2017年12月期<br>2Q累計 | 2018年12月期<br>2Q累計 | 前年同期比   |
|---------------------|-------------------|-------------------|---------|
|                     |                   |                   |         |
| 売上高                 | 8,971             | 21,811            | +143.1% |
| 売上総利益               | 4,009             | 8,985             | +124.1% |
| （売上高総利益率）           | （44.7%）           | （41.2%）           | —       |
| 営業利益                | 1,750             | 5,425             | +210.0% |
| （営業利益率）             | （19.5%）           | （24.9%）           | —       |
| 経常利益                | 1,733             | 5,719             | +229.9% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 819               | 3,972             | +385.0% |

# 受注高・受注残高

## 受注高・受注残高の推移



## <2018年・2Q累計受注高>

**受注構成は真空蒸着装置70%、スパッタ装置30%⇒装置応用分野拡大を示す。**

### 【スマートフォン】

中国・韓国等東アジアからの受注が活況  
3D・筐体バックガラス成膜装置の受注堅調

### 【カメラレンズ】

中国の監視カメラメーカーから高機能成膜装置が新たに受注増

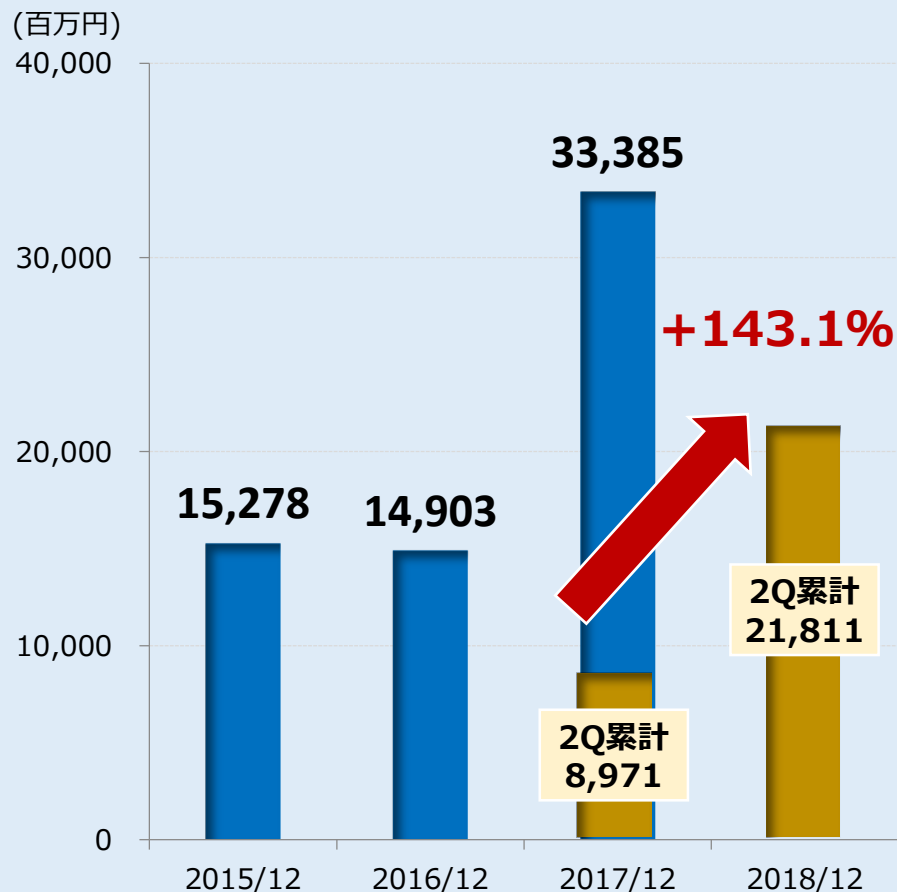
### 【生体認証】

3D（顔認証）向けの受注増

### 【車載】

カメラ・センサー・パネル向けの受注増

## 売上高の推移



## <2018年・2Q累計売上高>

- ・スマートフォンは北米メーカーに加え、中国・韓国メーカーが活況。3D・筐体バックガラス加飾膜等対応。
- ・売上構成は、スマートフォンとその他が半半  
→監視カメラ・IoT・LED関連が伸びを示す。

【カメラレンズ（監視カメラ）】

中国の監視カメラメーカーへの売上増加

【IoT（生体認証）】

3D（顔認証）向けの売上増加

【IoT（自動車）】

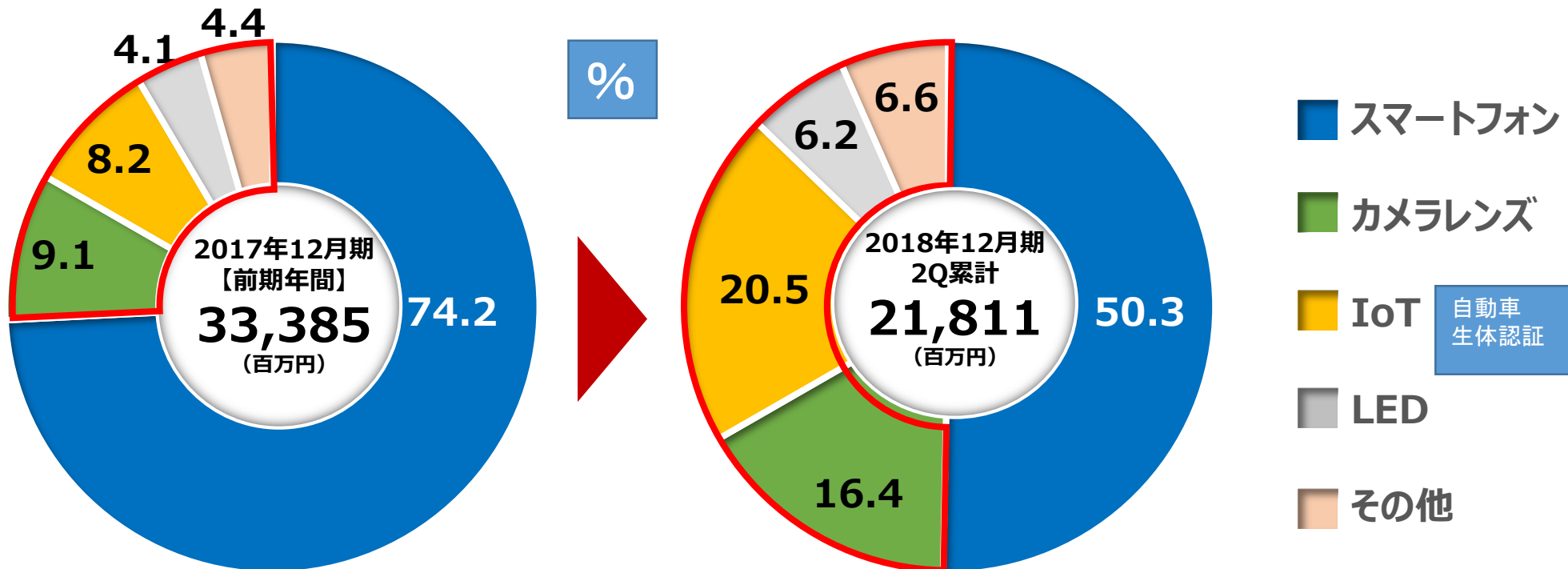
カメラ・センサー・パネル用の売上増加

【LED】

LED照明市場が成長。マイクロLEDも可能性が大きくなる。

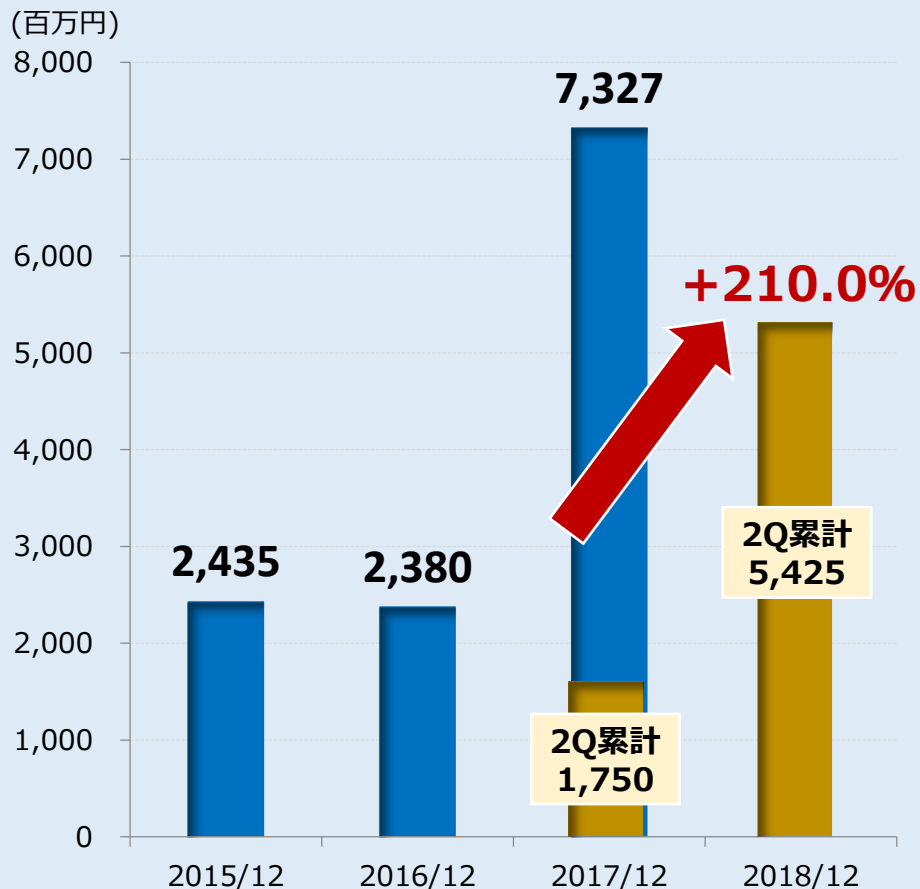
## 光学薄膜応用分野の拡大

スマートフォンは北米・中国・韓国等、需要先が多様化、さらに、その他分野拡大、すなわち、カメラレンズ（監視カメラ）・IoT(生体認証・車載)・LED等への拡がりにより、装置需要は活況





## 営業利益の推移

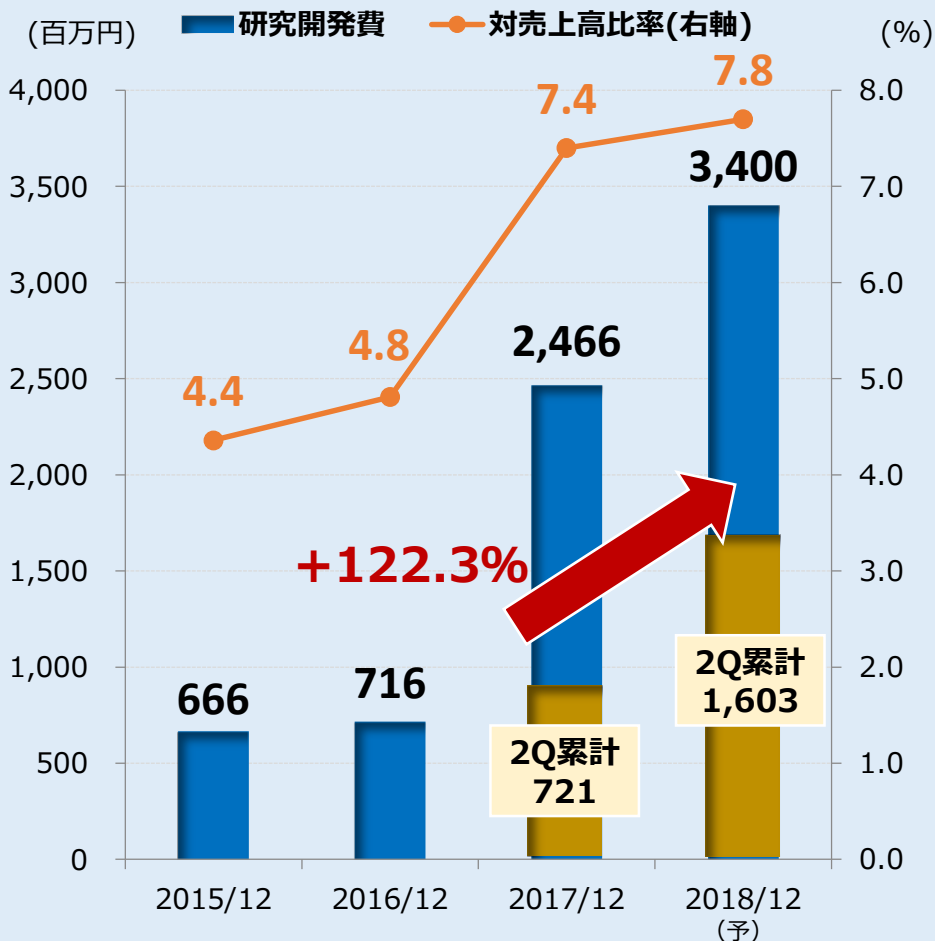


## <2018年・2Q累計営業利益>

1. 北米・中国・韓国顧客への  
スパッタ装置売上が寄与
2. 蒸着装置の売り上げ増による  
利益貢献
3. 外注活用による工場作業  
時間短縮、出荷台数増



## 研究開発費の推移



## <2018年・2Q累計研究開発費>

1. 研究開発型企业として、経営資源を研究開発に最優先配分
2. 日本本社・中国・台湾の横断的な研究開発体制強化・人材の拡充
3. スマートフォン新機能、IoT向けの開発加速（生体認証・車載）、監視カメラやLED高機能化、半導体光学融合装置の研究開発に注力

# 財務の状況

(百万円)

|                | 2017年12月期末 |        | 2018年12月期 2Q末 |               |        |
|----------------|------------|--------|---------------|---------------|--------|
|                | 金額         | 構成比    | 金額            | 構成比           | 増減額    |
| <b>流動資産</b>    | 52,255     | 92.6%  | <b>52,316</b> | <b>91.8%</b>  | +60    |
| 現金・預金          | 19,893     | 35.3%  | <b>11,022</b> | <b>19.3%</b>  | △8,871 |
| 受取手形・売掛金       | 3,380      | 6.0%   | <b>8,088</b>  | <b>14.2%</b>  | +4,707 |
| 棚卸資産           | 25,107     | 44.5%  | <b>30,012</b> | <b>52.7%</b>  | +4,904 |
| 貸倒引当金          | △181       | △0.3%  | △392          | △0.7%         | △210   |
| その他            | 4,055      | 7.2%   | <b>3,585</b>  | <b>6.3%</b>   | △469   |
| <b>固定資産</b>    | 4,169      | 7.4%   | <b>4,682</b>  | <b>8.2%</b>   | +512   |
| <b>資産合計</b>    | 56,425     | 100.0% | <b>56,998</b> | <b>100.0%</b> | +573   |
| <b>流動負債</b>    | 32,038     | 56.7%  | <b>30,096</b> | <b>52.8%</b>  | △1,941 |
| 支払手形・買掛金       | 7,303      | 12.9%  | <b>4,928</b>  | <b>8.6%</b>   | △2,375 |
| 短期有利子負債        | 9,193      | 16.3%  | <b>5,366</b>  | <b>9.4%</b>   | △3,827 |
| その他            | 15,541     | 27.5%  | <b>19,802</b> | <b>34.7%</b>  | +4,260 |
| <b>固定負債</b>    | 1,780      | 3.2%   | <b>2,224</b>  | <b>3.9%</b>   | +444   |
| 長期有利子負債        | 432        | 0.8%   | <b>331</b>    | <b>0.6%</b>   | △101   |
| その他            | 1,347      | 2.4%   | <b>1,893</b>  | <b>3.3%</b>   | +545   |
| <b>負債合計</b>    | 33,818     | 59.9%  | <b>32,321</b> | <b>56.7%</b>  | +1,497 |
| <b>純資産合計</b>   | 22,606     | 40.1%  | <b>24,677</b> | <b>43.3%</b>  | +2,070 |
| <b>負債純資産合計</b> | 56,425     | 100.0% | <b>56,998</b> | <b>100.0%</b> | +573   |

棚卸資産増・有利子負債の返済

・受注増による前受金の増加

・利益剰余金の増加

# CFの状況

(百万円)

|                         | 2017年12月期 2Q累計 | 2018年12月期 2Q累計 |         | 主な要因                   |
|-------------------------|----------------|----------------|---------|------------------------|
|                         | 金額             | 金額             | 増減額     |                        |
| 営業活動によるCF               | △6,425         | △ <b>2,304</b> | +4,121  | ・当期純利益増<br>・受注増による前受金増 |
| 投資活動によるCF               | △2,062         | △ <b>926</b>   | +1,136  | ・出資金の増加による支出           |
| 財務活動によるCF               | 8,626          | △ <b>5,413</b> | △14,040 | ・短期借入金の返済<br>・配当金の支払い  |
| 現金及び現金同等物に係る<br>換算差額    | △18            | △ <b>226</b>   | △208    |                        |
| 現金及び現金同等物の増減額           | 119            | △ <b>8,871</b> | △8,990  |                        |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 5,357          | <b>19,893</b>  | +14,536 |                        |
| 現金及び現金同等物の<br>期末（四半期）残高 | 5,477          | <b>11,022</b>  | +5,545  |                        |



# Ⅱ. Appendix

- 2018年12月期 業績予想（連結）
- 利益還元
- 中期経営計画(2018-2020) 2020年度目標

# 2018年12月期 業績予想 (連結)



(百万円)

|                     | 2017年12月期<br>実績 | 2018年12月期<br>予想 | 前期比    |
|---------------------|-----------------|-----------------|--------|
|                     |                 |                 |        |
| 売上高                 | 33,385          | 43,800          | +31.2% |
| 営業利益                | 7,327           | 8,100           | +10.5% |
| (営業利益率)             | (21.9%)         | (18.5%)         | —      |
| 経常利益                | 7,095           | 8,200           | +15.6% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 4,815           | 5,700           | +18.4% |

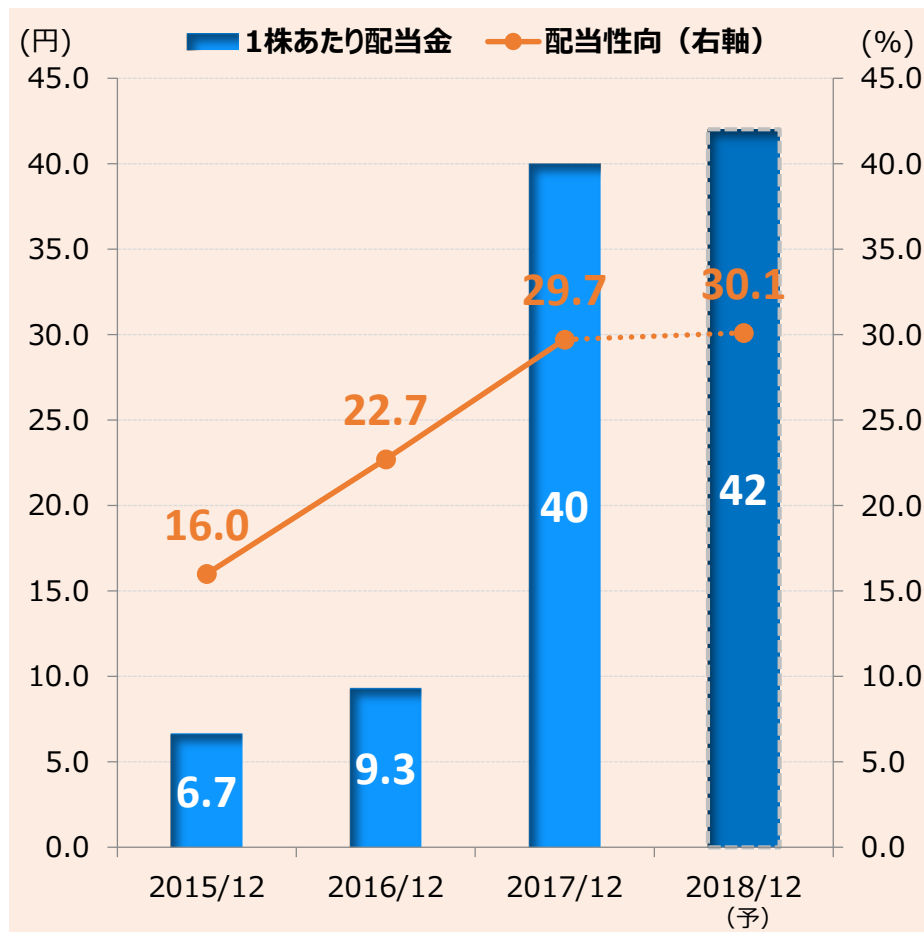
- 2018年は、新型スマートフォンの高機能化が継続し、高性能な光学薄膜装置へのニーズの継続が見込まれる。年初の生産調整の影響は限定的と予想
- LED関連においても、LED照明及びスマートフォンの生体認証用LED等の成膜装置の受注が引き続き見込まれる
- 車載カメラ、接触防止のための近接センサー、フロントガラス等のヘッドアップディスプレイ等の車載関連市場も伸長するものと予想
- IoTの進展により、レンズ・光学センサーへの光学薄膜需要の広がりを想定

## 株主還元を着実に実施します

### 配当方針

研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、余力は株主還元を最大限実施します。

**連結配当性向30%程度を目安に、**  
安定的な配当を目指します。

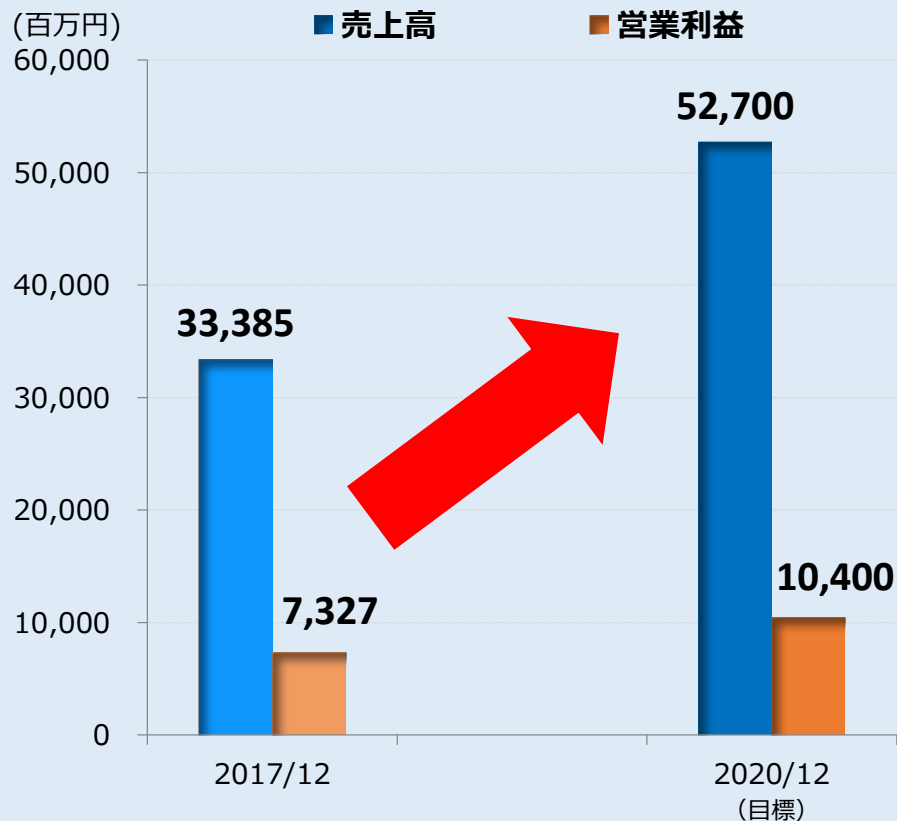


※ 2017年3月18日付で1:1,000の株式分割、及び同年10月13日付で1:3の株式分割を実施  
2017/12期以前の1株当たり配当金は上記株式分割を反映し、遡及修正して表記

# 中期経営計画(2018-2020) 2020年度目標



## 売上高・営業利益



## 重点戦略

1

世界トップレベルの技術開発型企业として、新機能成膜関連装置の研究開発を加速する

2

日本本社・上海・台湾の横断的運営(研究開発・生産・営業・内部管理)を強化し、世界市場をリードする事業総合力を発揮する



# 免責事項・注意事項ならびにお問合せ先



当資料に記載された内容は、2018年8月10日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 【お問合せ先】

E-mail : [ir-info@optorun.co.jp](mailto:ir-info@optorun.co.jp)

TEL : 049-239-3381